

SDGs協創ワークショップ実施

日立のIT部門では、次世代のリーダーとなる若手を対象に日立の掲げる社会イノベーション事業をけん引していくマインドを醸成するため、さまざまな取り組みを行っています。

今回は、当社のパートナーでもある株式会社リコーと協働し、ファシリテーターにはNPO法人ミラツクを迎えて、協創体験しながらSDGs*について学ぶワークショップを実施しました。

両社のさまざまな部門から若手を中心に50名が参加したこのワークショップ。今回は、両社に親和性のあるテーマ、SDGs No.11「住み続けられるまちづくりを」を大きなテーマにイノベーションビジネスの創出にチャレンジしました。

ワークショップは3日間、2回の集合セッションに加え、フィールドワークも実施しました。フィールドワークでは、参加者は社会課題解決の最前線で活躍する起業家の方々を訪問し、社会課題に触れ、イノベーターの生の声を聞くことでイノベーション創出へのヒントを持ち返ることができました。

※ Sustainable Development Goals:
持続可能な開発目標(2015年9月 国連サミットで採択)

フィールドワーク



集合セッション1



集合セッション2



参加者からは、「ふだん接点のない人との交流は刺激的で、勉強になった」、「起業家の生の声を聞き、事業創出へのヒントを得た」、「業務にも活かせる知識と気づきを得ることができた」、「イノベーションを起こしたいと感じた」などの感想があり、ふだん顔を合わせることがないメンバーといつものとは違うアプローチでの思考法で発想する良い機会となりました。